

2014 年国際DA会議の報告について

2014 年国際DA会議(米国ミネアポリス、4月4日～7日)での決定事項など会議内容は次の通り。

<規則改正の審議結果について>

1. 項目1～17のうち承認が14項目、非採用は3項目(別紙1)
2. その中で重要な変更は項目2及び項目8の承認です。(別紙2)
3. 特に項目2は従来のリトル年齢決定基準日だった「4月30日」が「12月31日」に変更になった。

この変更は、リトルリーグ野球全部門とチャレンジャー部門で適用されます。

具体的には、リトルリーグ(メジャー)部門(9歳～12歳)では「12月31日」時点で9～12歳である児童が当該年にプレーできる有資格者ということになります。これはIBAF(国際野球連盟)の年齢決定日に合わせたもので、選手の体格・体力向上に伴う安全配慮も含まれています。

《例外措置と留意点》

項目2の改正では、2015年から2017年までの3年間は例外措置がとられています。これは、例えばリトルリーグ(メジャー)部門(9歳～12歳)についていえば、その年の「5月1日」から「12月31日」に13歳に達する選手はプレーする資格があり、国際トーナメントに出場することができる、という措置です。つまり、2017年までは現在の年齢基準日(4月30日)が継続されます。

リトルリーグ(メジャー)部門(9歳～12歳)を含む全野球部門は3年間の経過期間を設けて年齢決定基準日が切り替えられるというわけです。

各リーグにとっては2018年以降のリーグ方針(チーム編成の方法、部門参加年齢など)の確認と対応が必要とされますので留意してください。

4. 項目8で男子の捕手はショートタイプのチェストプロテクターの着用も認められました。これは本年2014年からの施行です。

<マイナー大会チーム派遣要請について>

フィリピンの野球創設 100 周年を記念し、同国で開催されるマイナーチームの大会(6月28日～7月4日)参加の要請がアジア各国に出されました。参加条件は参加費 3000ドル、往復渡航費用の自己負担です。参加希望チーム(複数でも可)は所属連盟を通して日本協会に 5月15日までに連絡をください。参加申請書類の提出は5月30日までです。

2014年の世界大会日程決まる

米国本部は2014年の各部門の世界選手権(ワールドシリーズ)大会の開催期日、場所を発表した。主要大会は下記の通り

◆第2回インターミディエット(50/70)世界大会

年 齢: 11歳～13歳

期 日: 7月29日～8月4日

開催地: カリフォルニア州リバーモア

◆第68回リトルリーグ世界大会

年 齢: 11歳～12歳

期 日: 8月14日～24日

開催地: ペンシルベニア州ウイリアムSPORT